

コロナ禍におけるこども会活動アンケート 集計

Q1: 令和2年度どういったこども会活動をされていましたか。

行事内容	回答数
野外活動	3
歓迎会	3
地藏盆	3
スポーツ	3
ゲーム	4
ソフトボール	4
ラジオ体操	5
ハロウィン	7

行事内容	回答数
清掃	11
遠足	12
廃品回収	14
お別れ会	15
会議	17
その他※	31
クリスマス会	34
活動なし	35

※その他の内容

○イベント関連

- ・かるた大会
- ・クラフト祭り
- ・ボーリング大会
- ・焼きいも（小学校で焼き芋をつくり、こども達に配った）
- ・公園で花火
- ・桜の植樹
- ・戦闘中（運動場で水遊び）

○記念品等の配布

- ・バレンタイン（プレゼント・ケーキ配布）
- ・夏祭り代替行事（お菓子パック配布）
- ・お菓子、進級プレゼント、図書カード配布
- ・暑中見舞いにサーティワンのチケット配布
- ・7月に子供達へお菓子の袋詰めをプレゼント
- ・餅つき代替行事（おもちゃお菓子パック配布）
- ・徴収したこども会費から使用した分を差し引いて金券に代用し返金、役員が各宅に配る
- ・筆記用具のプレゼント

○会議関係

- ・活動計画は例年通り行えるかは未定であることを伝えたくて、生徒の中からリーダー副リーダーを各1名ずつ決めて、連絡をとった
- ・各小地区に分かれ、時間短縮し参加者名簿の作成

○コロナ対策行事ほか

- ・LINEを使って子供達の写真を集め、一枚のカラー用紙に組みあわせる
- ・ビンゴ大会（会館で1F男子20名、2F女子20名程に分けて実施。抽選は1Fで行い、2Fにはラインでスピーカーにして同時進行で行った）

- ・子供達に絵を描いてもらい町内で掲示
- ・会館での時間短縮しての活動（2時間以内）
- ・クライミング施設の貸し切り（午前中のみ）
- ・コロナが落ち着いた時に活動していた
- ・映画鑑賞後、公園で遊ぶ
- ・比較的流行が収まっている時は、家族ごとに集まって食事（普段は子供、大人のグループ）

Q1-1 活動にあたり気を付けていたこと

遠足

- ・場所選びは、小学校の修学旅行先（U S J）と同じにした。高学年も全員、保護者のつきそいを必須とした。感染者数の減ってきた時期を選んだ。
- ・卒業遠足で密にならないように、始めにチケットを渡す数分だけ集まり、後は各家庭で楽しむようにした。
- ・遠足は、グループに分かれて行動。消毒、マスク着用。

お別れ会

- ・飲食を共にしない活動。

会議

- ・参加型イベントは中止。
- ・会議は必要最低限の回数にとどめ、なるべく LINE などを使い役員同士連絡をとりあった。
- ・短時間で距離を保ちました。

クリスマス会

- ・ランチとケーキは持ち帰りにし、静かに楽しめる工作を増やし、消毒やソーシャルディスタンスに気を付けて短時間で終了。
- ・映画の券をプレゼント、個々で見に行ってもらおう。
- ・集会所では換気、マスク着用、入室時に手の消毒。長時間にならないように飲食を禁止。当日は各自自宅で検温。
- ・マスク着用、検温、消毒。
- ・時間をずらして、人数を減らし二部に分ける。換気、入室時に検温・消毒・マスク着用・体調を確認。密にならないように動線を考え、コーナーを広くとる。
- ・会館に集まらず、役員がサンタやトナカイの格好をして各家庭にプレゼントを届けた。
- ・屋外で消毒し密にならない様に短時間で行った。
- ・集会所で行い、短時間で済むように工夫をした。

地藏盆

- ・マスク着用、消毒を徹底した上で配布。おさがりのお菓子をお渡しする際の距離、短時間で帰る事も意識した。

清掃

- ・お知らせは LINE で行い、役員の仕事量を削減。（役員会を減らし LINE で対応）
- ・子供会員が少人数の為、密にならず、検温、マスク着用、手洗い、消毒の対応を徹底した。

- ・公園掃除はマスクをつけて、少人数で行っていました。
- ・公園清掃は密を避ける為、全員参加から1家族へ変更し、月ごとに当番を決めた。
- ・大きな声でしゃべったりせずマスクを着用して清掃。

ソフトボール

- ・道具使用後の消毒、検温、距離をとってのアップ等。
- ・手洗い、除菌スプレーの準備、マスク着用。
- ・屋外で間隔をあける。
- ・集合、挨拶時に皆にアルコール消毒、マスク着用。

廃品回収

- ・集合、挨拶時に皆にアルコール消毒、マスク着用。
- ・人数を減らして行う。
- ・活動時、マスク着用、アルコール消毒、うがい手洗い。
- ・廃品回収1家族1名で、アルコール消毒の徹底。
- ・マスク、軍手着用。密にならない様距離をあけ、新聞、雑誌、ダンボールの仕分けをする。
- ・飲み物は紙コップを使用せず、1人1本（500ml）のペットボトルを配布。

ハロウィン

- ・ハロウィンイベントは野外公園で、短時間で済むように工夫をしました。マスク着用、検温、消毒を徹底。くじ引きなども、他の人が触ったものを触らない様にして、できる方法を考えました。
- ・ハロウィンのお菓子のラッピングはお店に任せて、なるべく手に触れないようにする等。

野外活動

- ・感染対策を行っている施設を使用する。

ラジオ体操

- ・手指消毒持参、マスク着用。
- ・マスク着用、消毒液を設置して手指の消毒。
- ・集まってできない為、各ご家庭内で行っていただき、後日子ども会の役員が訪問しカードを確認後、プレゼントを渡す。

活動なし

- ・集まりがあっても、なるべく接触しないようにした。
- ・マスク着用、手消毒。
- ・人との接触を避ける為、必要以上の行動を控え自粛していた。
- ・マスク着用、大声で話さないようにする。

その他

- ・家族ごとに行動してもらい、行事は時間短縮して活動。
- ・密にならない様に屋外で活動。

- ・来場者へのマスク着用を促し、入口にアルコール消毒液設置、三密を避ける為、配布物（おもちゃ、お菓子等）のみ提供。
- ・手指消毒、換気、景品受け渡しも密にならないように配慮した。イベント日雨天の為、実施場所を広場から会館に変更した。
- ・10月からの活動再開に対して、保護者にアンケートを実施。緊急事態宣言の最中、お別れ会をするにあたり保護者会を開催。子供会で感染予防対策のガイドラインを作成し、それに基づいて活動した。
- ・接触を少なく、コロナが落ち着いた時に活動していた。
- ・行事を中止にした。
- ・感染症対策を行い、参加人数を制限し行う。
- ・マスク着用、食事前は消毒。車中では隣同士にはせず、2席を1人で利用。
- ・会場のコミュニティルームは窓と扉を開放して換気。
- ・集会所で行う為、入口で役員が手指消毒を確認、換気・時短を徹底した。
- ・屋外で距離を取りつつの顔合わせ、自己紹介。

Q2：令和2年度の主な活動場所をお書きください。

活動場所	回答数
公共施設	2
オンライン	5
その他	6
公園	10
屋外	12
学校	12
集会所	25

※LINE 会議

※各家庭・マンション玄関ロビーなど

※地区内での廃品回収など

Q3：コロナ禍の中でもこの活動は出来るよ！というおススメの活動をお書きください。

(実際に行った活動だけでなく、少しでも計画していた活動、行いたい活動も含みます)

- ・PANZA てんしば イーナ（屋内：換気の為ドア開放されている、身長制限有）
- ・ウォーキング
- ・ハイキング
- ・運動場で親子キックベースボール
- ・屋外（運動場等）で遊ぶ（かけっこなど）
- ・屋外（グラウンド、久宝寺緑地公園等）でのドッジボール、キックベースボールのスポーツ大会
- ・屋外でのイベント
- ・屋外でのイベント（ヨーヨー・スーパーボールすくい。飲食のない出店）
- ・屋外でのクリスマス会
- ・屋外でバーベキュー
- ・屋外で遊ぶ（飲食なし）
- ・公園など屋外でのイベント

- ・リモート宝探しゲーム
- ・リモートラジオ体操
- ・リモートゲーム
- ・野外遠足
- ・野外活動
- ・自然、野外等少人数での散策
- ・映画
- ・屋外シアター
- ・キッズシアター
- ・公園散策後、各家庭でレジャーシートを用意し間隔を開けてお弁当を食べる
- ・公園掃除
- ・新入生歓迎
- ・ソフトボール
- ・ドッジボール
- ・ボーリング大会
- ・つなひき、キッズダンス、グラウンドゴルフ教室
- ・日帰りキャンプ
- ・廃品回収
- ・配布物がメインの行事
- ・ハロウィンに各家庭でお菓子をを用意しこどもが回る
- ・プレゼント配布
- ・クリスマスプレゼント
- ・図書カード配布
- ・ビンゴ大会
- ・伏見桃山城や寺田屋など歴史跡地をめぐる、オリエンテーリング
- ・ミニ運動会（ジェスチャーゲーム他幼児～高学年までできる種目など、6種目）
- ・ラジオ体操
- ・ワークショップで何か工作
- ・お別れ会（食事会）
- ・お楽しみ会（クリスマス会）
- ・モルック（フィンランドの投てき競技）
- ・大和川の河川敷で凧揚げ
- ・アスレチック
- ・おもちゃの寄付&ミニクリスマス会
- ・久宝寺緑地公園で親子レクリエーション大会（距離を取りながら昼食をとる）
- ・ますつり
- ・植樹
- ・マスクしてできる行事
- ・芋ほり
- ・公園でふれあい祭り

Q4：令和2年度中にこども会運営で困ったことをお書きください。

1. コロナ禍による行事実施・計画のしにくさ

- ・毎年やっている行事をやるべきか、やめるべきか毎回悩んだ事。
- ・どのような活動ならできるのか、考えても答えがまとまらず、話し合いをした。
- ・感染させたくないし、なりたくないし行事が予定できなかった。
- ・コロナ禍の中、思うように活動できなかった事。
- ・コロナ禍の為、活動を自粛した。
- ・行事の運営。
- ・コロナ禍で出来ない事が多く困った。
- ・コロナ禍で活動ができなかったので、こども達には申し訳なかったと思います。
- ・コロナの為、こども会でのバスツアーやクリスマス会ができなかった。
- ・コロナで何も運営できなかった事。
- ・コロナ禍の為、活動や行事が中止となってしまった事。
- ・何をどうすればいいかわかりませんでした。
- ・コロナの中で、どの様な活動が安全にできるのか。
- ・少しでも思い出に残る活動を実施したかったが、コロナの感染者減小の見通しも立てることが出来ず、無責任に開催する事もできず、目安となる判断材料もなかったので迷う事が多かった。
- ・何をしたらいいかわからない一年でした。
- ・年度当初、先の見通しがたたず、スケジュールを立てるのが難しかった。
- ・緊急事態宣言で行事が延期になったこと。
- ・飲食を共にしないと活動ができない。
- ・こども達の楽しめる事を考えたが、難しかった。
- ・状況が変わるかもというのを常に考えなければならず、計画が立てにくかった。
- ・集会所が使えなかったので、活動ができなかった。
- ・こういう状況でも何かをした方がいいのか。どこまで対策をすべきか悩んだ。結果存在意義に疑問を感じやめた団体もあった。今でもイベントをやるなら消毒、検温、参加表は必須なので少しわずらわしい。

2. コロナに対する考え方の違いによる悩み

- ・行事を少しでも行いたいと役員間では話したが、色んな考えの家庭もおられるので、無理に決行できないし、行っていいものかと悩みました。
- ・屋外でも家庭それぞれの考え方があるので、強制できない。自然と活動の機会が減ってしまう。
- ・会員数の減少。活動ができず、新規募集ができない。各家庭によってコロナに対する考え方も違うので、安易に活動できない。
- ・コロナ感染拡大に対する対策や恐怖心は、本当に人によりさまざまで、文字通り手さぐりでした。

3. 入会者の減少に対する悩み

- ・子ども会員が少なく、何もできなかった。
- ・こども会はありませんが、ジュニア会員の把握が難しい。
- ・子供の人数が少ないので、どこかのこども会と一緒に活動してみたい。
- ・やりたくても、人数も少ないので、出来ませんでした。

- ・イベントがない為、新年度にやめる人が多数いて、新規入会も勧誘しにくい。

4. コロナ禍におけるこども会の運営（会議など）にかかる悩み

- ・活動ができないので、会費などの返却をどうするか困った。
- ・全部携帯 LINE のやりとりばかりで大変でした。
- ・予定していた事業がほぼできなかったこと。また小さな子供がいる役員もいたので、コロナ禍の中、定例会の参加時は普段より預け先に苦労した。
- ・コロナで、定例会ができず、話し合いができず、イベント等の話ができなかったこと。1年の行事予定を書いた紙を渡しているのに、何もできず申し訳なかった。
- ・コロナウイルス感染が怖くて、集まる事ができなかった。

Q5：他のこども会に聞いてみたいことをお書きください。

○令和2年度、例年通り会費を徴収したか。

【事務局より】

会費を徴収し、後日返金対応等をとられているこども会もあるようです。令和3年度における安全共済会加入にかかる費用につきましては、行事の開催予定により、掛金変更後の後期加入にずらしているこども会もあります。

○入学式や卒業式のお祝いなど、何か贈り物をしていますか。

【事務局より】

Q1の回答にあるように、記念品の贈呈をされているこども会が複数あります。

○今後の活動の再開時期をどうするのか。

【事務局より】

大変難しい問題ですが、緊急事態宣言の発出や地域行事の開催状況、学校施設の開放がされているかなどの各状況を確認しながら再開をしていただければと思います。

○コロナ禍での行事の参加割合はどの位だったのか。

【事務局より】

具体的な参加割合については、こども会ごと、行事ごとに異なりますため全てを把握はしておりませんが、アンケート結果を確認しますと、直接集まる行事のほか、リモートで行われている行事や各家庭で実施してもらう行事もあり、感染症対策をとりながら、できる限り多くの参加が可能となるよう工夫をいただいているようです。

○こども会員の募集の方法。会員数の増やし方。

【事務局より】

かねてより会員数の減少が課題となっている中、さらに、コロナ禍により対面でのこども会会員の募集等が困難な状況において、各こども会において苦慮されながらご対応いただいております、本当にありがとうございます。

会員募集の方法について、これまで対面で行っていた勧誘をポスティングやメールに変更されるなど、手法を変えて行っておられるこども会もあるとお聞きしています。状況は各こども会により異なることとは思いますが、会員募集について、引き続きよろしく願いいたします。

○中学校でのジュニア活動は、ほとんど残っていないのではと思います。子どもの数が少なくなっており、親の負担が重くなっています。現在活動されている所の実情、解散した所は解散してどうなったのか、など聞いてみたい。

【事務局より】

コロナ禍により幹事会が書面開催となり、地区幹事同士がお会いされることも少なくなってしまったため情報交換が困難となっておりますが、ジュニア地区の活動概要等につきまして、事務局までご連絡いただければと思います。

○感染リスクの少ない活動があれば知りたい。

【事務局より】

ZOOM 等を利用したクラフト講座の視聴などオンライン活動を検討されているとお聞きしております。また、逆の視点として、学校教育活動における「感染リスクの高い活動」が例示されておりましたので抜粋してご紹介いたします。

- ①狭い空間や密閉空間での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
- ②調理などの実習
- ③密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動

など、近距離で密になる活動のリスクが高いと考えられています。

本報告における各こども会の工夫を凝らした活動につきましてもご参考にいただければと思います。

○コロナ禍の中、活動された内容や、移手段、移動の際の工夫された事など、お聞きしたい。

○コロナ禍でのおすすめの活動を聞いてみたい。

○コロナ感染予防対策をしてできる行事を開催されていたら、その方法等を教えてほしい。

○令和2年度にどういった活動をしたのか、どのように活動されたのか。気を付けた点。工夫したこと。

○オススメの活動、どんな活動をしたのか。

○他の子供会はどれくらい行事をしたのか。

○前年度の活動は全て中止にしたが、今年度は少しずつ活動が再開されると思いますが、各子供会においてのイベント時のコロナ対策を教えて欲しい。

○行事がコロナで何もできず、かわりに何かしていることがあるか聞きたい。

○令和3年度はどのような活動をされるのか。

【事務局より】

本報告にて活動内容や対策をまとめておりますので、ご活用いただければ幸いです。